

中学校英語スピーキングテスト 令和5年度実施状況について

令和6年4月24日
教育庁

1 実施概要

| | 日程 | 会場 | 受験人数 |
|--|--|---|-------------------------------------|
| ESAT-J (第3学年対象) | ア 実施日：令和5年11月26日(日) イ 予備日：令和5年12月17日(日) | ア 実施日：都立学校 188会場 民間会場等 39会場 イ 予備日：都立学校 6会場 民間会場等 9会場 | 71,205人 |
| ESAT-J YEAR 1 及び ESAT-J YEAR 2 (第1学年及び第2学年対象) | 令和6年1月22日(月)から3月15日(金)までの期間内で実施 | 都内公立中学校 636会場 | 134,495人 (Y1 67,432人、Y2 67,063人) |



2 ESAT-J (中学校第3学年対象) の出題及び結果概要

(1) 出題形式と評価の観点

ア 出題のねらいと形式

| Part | 出題のねらい | 出題形式 | 出題数 | 評価の観点 | | |
|------|--|-------------------|-----|---------------|------|----|
| | | | | コミュニケーションの達成度 | 言語使用 | 音声 |
| A | 英文を読み上げる形式の問題で英語音声の特徴を踏まえ音読ができる力をみる。 | 英文を読み上げる | 2 | | | ○ |
| B | 図示された情報を読み取り、それに関する質問を聞き取った上で、適切に回答する力や、図示された情報をもとに「質問する」、「考えや意図を伝える」、「相手の行動を促す」など、やり取りする力をみる。 | 質問を聞いて回答する・意図を伝える | 4 | ○ | | |
| C | 日常的な出来事について、話の流れを踏まえて相手に伝わるように状況を説明する力をみる。 | ストーリーを英語で話す | 1 | ○ | ○ | ○ |
| D | 身近なテーマに関して聞いたことについて、自分の意見とその意見を支える理由を伝える力をみる。 | 自分の意見を述べる | 1 | ○ | ○ | ○ |

イ 評価の観点

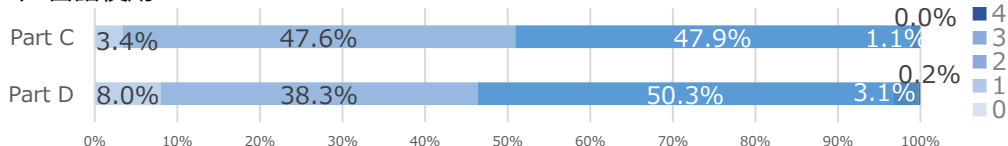
- (ア) コミュニケーションの達成度 [2段階(0~1)] コミュニケーションの目的の成立
- (イ) 言語使用 [5段階(0~4)] 語彙や表現の使い方や幅広さ、内容の一貫性、論理構成
- (ウ) 音声 [4段階(0~3)] 発音、イントネーション など

(3) 評価の各観点の達成度 (11月26日実施分)

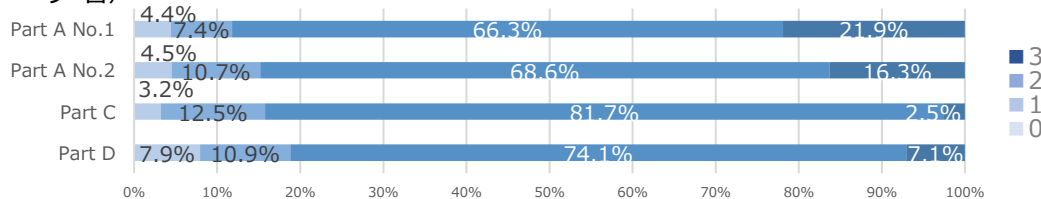
ア コミュニケーションの達成度

| Part B | | | | Part C | | | | Part D | |
|--------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|
| No. 1 | No. 2 | No. 3 | No. 4 | 1J | 2J | 3J | 4J | 意見 | 理由 |
| 83.3% | 73.1% | 94.8% | 58.7% | 92.1% | 55.5% | 30.0% | 64.5% | 88.3% | 84.3% |

イ 言語使用

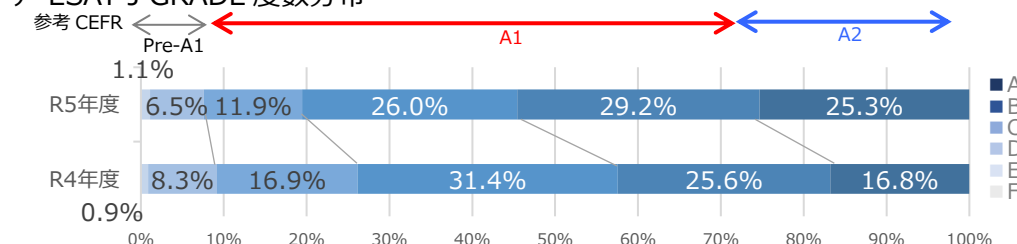


ウ 音声

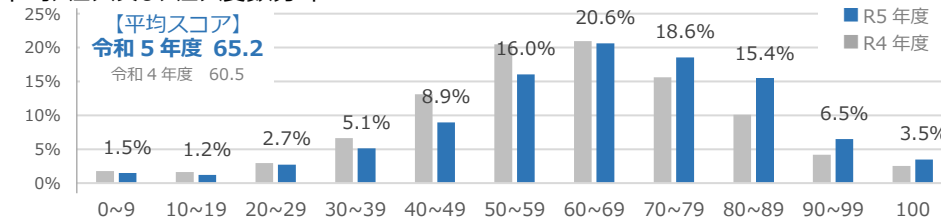


(2) 結果概要

ア ESAT-J GRADE 度数分布



イ 平均スコア及びスコア度数分布



ア コミュニケーションの達成度

- 自分のしたいことや既に行ったことについて、聞き手が問題なく理解できる応答をすることができている。
- 8割以上の生徒が、自分の意見とその理由を、具体的な事例を用いるなどして伝えることができている。
- 不足している情報について自分から尋ねる場面や、イラストの内容を伝える場面で、表現の誤り、あいまいさや発話量の不足により、コミュニケーションの目的が成立していない例が見られた。

【学習改善ポイント】

⇒ **自分が必要とする情報を得るために適切な質問をする。既習表現を最大限に活用して伝える。**

イ 言語使用

- 5割程度の受験者が、出来事や自分の考えを、既習の語彙や表現、文法事項を活用して、相手に伝えることができている。また、簡単な接続詞を用いて、アイデアを順序立てて伝えることができている。
- 使用している語彙や表現に限られていたり、語彙や文構造及び文法に誤りがあったりすることにより、相手に伝えたい内容が適切に伝わらない例が見られた。

【学習改善ポイント】 ⇒ **語彙や文法の学習の際には、使用する目的・場面・状況を意識する。**

ウ 音声

- 英文全体の内容は聞き手に伝わるものの、“heard”、“math”、“Tuesday”、“lived”、“large”、などの単語の発音ができなかったり、英語らしいリズムやイントネーションに欠けたりする例が見られた。

【学習改善ポイント】 ⇒ **意味や内容が相手に伝わるように読んだり、話したりする。**

3 令和6年度取組の方向性

ESAT-J

- 生徒が身に付けた「話すこと」の力を発揮できるよう、更なる良問を作成する。
- 使用する機器が更新されるため、機器の使用方法について動画やリーフレットにより情報提供を行う。
- 新規事業者での実施となるため、綿密な調整を行い、実施手順を確立する。

ESAT-J YEAR 1 及び ESAT-J YEAR 2

- 生徒が、自分ができるようになったことを振り返り、次の目標設定ができるよう、返却するスコアレポート等の充実を図る。
- 3年間を通して、生徒の英語力を向上させていくことができるような生徒及び学校用のポータルサイトを構築する。
- 学校に対する周知期間を十分に取るとともに、リーフレットの配布や動画の公開により、具体的に情報提供を行う。

4 今後のスケジュール

| ESAT-J 【中学校3年生対象】 | | ESAT-J YEAR 1 及び ESAT-J YEAR 2 【中学校1・2年生対象】 | |
|----------------------|----------|--|--------------------|
| 5月 | 実施要項公表 | 5月 | 令和5年度実施分のスコアレポート返却 |
| 6月 | 中学校対象説明会 | | |
| 11月24日 | 本試験実施日 | 【令和6年度】 | |
| 12月15日 | 予備日 | 6月 | 実施要項公表 |
| 1月 | 結果返却 | 1月～3月 | 各中学校において実施 |
| | | (5月 | 結果返却) |